

第13回(2026年)

# いのちの光 3・15 フクシマ

「フクシマが背負ってきたもの伝えつづけるもの」

「2011年3月15日」

それは、東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が3度目の爆発を起こし、フクシマへと運命を変えた日です。今年は大震災、原発事故から15年となります。私たちは、核に依存しない安全で平和な世界に向かって歩んでいくためにメッセージを発信し続けていきます。カトリック仙台教区カテドラルでの講演会、福島第一原発から約25kmの距離にあるカトリック原町教会での現地報告とミサによる祈りを通して「いのち」のあり方について共に考えたいと思います。

ぜひご参加下さい。



3月14日(土)14:00～16:00 (13:00開場)

—講演会—「原発の構造的暴力に抗う」

講 師：高野 聰さん(原子力情報資料室 CNIC スタッフ)

会 場：カトリック元寺小路教会大聖堂（宮城県仙台市）



3月15日(日)13:00～16:30 (12:30開場)

—現地報告・ミサー

現地報告 「15年の振り返りと、これから」

講 師：田中 徳雲 さん(福島県南相馬市曹洞宗同慶寺住職)

ミサ司式：幸田 和生 東京教区名誉補佐司教

(カトリック原町・いわき教会担当)

会 場：カトリック原町教会聖堂（福島県南相馬市）



☆14日、15日ともに参加費無料・申し込み不要（当日カンパをお願いします）

主催：「いのちの光3・15フクシマ」実行委員会

後援：カトリック仙台司教区

協賛：日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室 いづみ

日本カトリック正義と平和協議会／カトリック正義と平和仙台協議会

問い合わせ：inochinohikari315@yahoo.co.jp

※原発事故について、福島だけに限定せず幅広い社会問題として捉えるため「フクシマ」と表記しています。

## 高野 聰 (たかの さとし) さん

神奈川県・横須賀市出身

青山学院大学卒業、韓国・慶北大学大学院で行政学修士号取得、ソウル大学環境大学院博士課程。

韓国に2010年から11年間滞在。

韓国語での会話可能。2022年2月より原子力情報資料室スタッフ。

20代後半から社会運動に参加していたものの、原発の問題に気付いたのは福島原発事故以降でした。

勉強するほど、原発は単純なるエネルギー源選択の問題ではなく、原発やウラン鉱山での被ばく労働、巨大資本による搾取や差別、都市と地方の格差、秘密主義的な意思決定、事故による故郷喪失、組織化された無責任体制など様々な要素が複雑に絡み合った問題だと認識しました。

それ以来、一生をかけて取り組むべき深刻な問題だと思い、原子力情報室で活動することとなりました。

確かな情報と民衆の強い連帯でこの困難な問題を解決していきたいと思います。

## 田中 徳雲 (たなか とくうん) さん

福島県・いわき市出身

2001年より同慶寺副住職、2008年より住職（相馬中村藩歴代藩主菩薩時）

2011年3月11日、原発から17kmの同慶寺で被災。事故発災当時37歳。

4人の幼子をかかえ福井県永平寺に避難し避難所を開設。

以後、檀信徒800人の要請で全国を飛び回る。

2019年11月に教皇フランシスコ来日の際、原発事故についてスピーチをする。

現在は「みなみそうま九条の会」会長として活動されている。

 カトリック原町教会 TEL:0244-23-3713

975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町1-15

 カトリック元寺小路教会 TEL:022-222-5507

980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-2-12

どちらも駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用下さい。

★活動を継続するにあたり、ご支援を募っております。賛同いただければ幸いです。

### 【賛助金ご支援のお願い】

1. 賛助金：一口 1,000円

2. 賛助金の用途：

事務局運営費（講師謝礼・事務通信費・資料作成費・雑費費等に充当いたします）

3. 振込先：ゆうちょ銀行

加入者名：いのちの光の会

(1) 【総合口座】 記号：18210 番号：38163821

※他の金融機関からのお振り込みの場合

(2) 【店名】 ハニハ (ハチニハチ) 【店番】 828

【預金種目】 普通預金 【口座番号】 3816382